

## 障害者活躍推進計画実施状況

機関名	堺市役所		
任命権者	堺市長 堺市選挙管理委員会 堺市代表監査委員 堺市人事委員会 堺市議会議長		
評価年度	令和3年度		
目標に対する 達成度	項目	目標	実績（達成度）
	障害者雇用率	2.8%以上 (令和6年6月1日)	2.67% (令和4年6月1日)
	各年度内に採用した 職員の職場定着率	100%	71.4% (令和4年3月31日)
取組内容の 実施状況	<p>○職員の採用                      障害者を対象とした事務区分において、正規職員として令和3年度に5名を任用した。</p> <p>また、障害者の職務経験を積む機会を提供し一般企業等への就職につなげることを目的に実施している「堺市チャレンジ雇用」について、会計年度任用職員として雇用機会の拡充を図り、令和3年度に13名を任用した。</p> <p>○職場環境の整備及び職務の選定                      令和2年度に人事部に設置した「チャレンジオフィス」において、一人ひとりの障害の特性に応じた職務遂行を支援するとともに、オフィスに配置した4名のジョブコーチを中心に、外部専門機関と適宜連携・相談を行いながら、障害のある職員が職場に適應できるような職務環境を整備できるよう、庁内各部局への助言・相談対応を実施した。</p> <p>また、チャレンジ雇用職員の配属所属はもとより全庁の職員を対象として障害のある職員の職場定着を円滑にするため、「障害者しごとサポート研修」を実施した。本研修は、同僚である職員が障害についての正しい知識と理解を持つことを目的に、研修①「身体・知的」及び研修②「精神・発達」の2回実施した。（参加者は①28名、②36名）</p> <p>○キャリア形成支援及び常勤職員へのステップアップ                      チャレンジオフィスに配置したジョブコーチを中心に、所属長及び外部専門機関と適宜連携・相談を行いながら、本人に対して実施する定期的な</p>		

	<p>面談等を通じて、キャリア形成及び常勤職員へのステップアップを支援した。令和3年度中においては、常勤職員への合格、別途民間企業への転職、資格取得のための退職等の実績があった。</p>
<p>「目標に達する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果</p>	<p>実雇用率については法定雇用率を上回っている。</p> <p>定着率については71.4%となり、前年度を下回る結果となった。退職理由については、常勤職員への合格や民間企業への転職等があり、チャレンジ雇用期間中に本人の努力によるステップアップの結果、新たな道へ進むこととなったものもあるが、体調を崩されて退職に至る事例もあり、本人支援のあり方について適宜見直しを進める必要があると考えている。</p> <p>その他、各取組内容についても適宜実施や検討を進めており、概ね計画どおり実施できている。</p>
<p>計画の見直し・修正</p>	<p>特になし。</p>